

第6回景観パネル展

テーマ:「平塚八景」から“平塚百景”へ

開催日程:平成28年5月30日(月)~6月3日(金)

会場:平塚市役所本館1階 多目的スペース

景観法が平成17年に施行されたことに伴い、景観法の基本理念の普及や意識啓発を目的に、6月1日を『景観の日』と定められました。

今回は、昭和57年に市民の推薦のもとに制定されている平塚の代表的な観光資源である「平塚八景」と、吉沢地区において地域住民の皆さんの独自の取組みにより選定された“吉沢八景”を紹介し、地域の個性を生かした景観の保全と創出の一例を紹介いたしました。

展示の様子 5日間で約300名の方にご来場いただきました。



平塚八景について

昭和56年に市制施行50周年を記念して、郷土の誇りとなるような景勝地を制定するために、平塚八景を募集しました。平塚景勝選定委員会において、観光、旅行、写真、絵画、文化財関係等の代表者がそれぞれの立場から検討し、参考候補地を24か所選定しました。候補地の中から平塚八景にふさわしい場所を市民の方に応募していただき、市民の推薦をもとに平塚八景が制定されました。制定の基準は、平塚市の郷土の誇りとなるような、誰にも親しめる美しい景勝地で、見る人、訪れる人に感動と心の安らぎを与えてくれるような場所が選ばれています。

平塚八景 ①金目川と観音堂



平塚八景制定時の写真（昭和57年）

金目観音堂は、坂東第七番札所として有名です。本尊は平安時代の作といわれる聖観世音菩薩像です。前を流れる金目川の堤は、春になると満開の桜でいっぱいになります。また、土手から望む高麗山の春景色と水神橋から望む丹沢、大山の夕景は、一幅の絵のようです。



現在の写真



平塚八景 ⑤森の前鳥神社



平塚八景制定時の写真（昭和57年）

前鳥神社は、平安時代の「延喜式」神名帳にも載る古社です。境内には、桜やけやきの大樹、杉の古木が多く、平塚市保全樹林に指定されており、古社らしき趣きのある一画となっています。「木の実落ちし 音しんかんと残りけり 飛鴻」の句碑もあります。



現在の写真



平塚八景 ②七国峠・遠藤原



【遠藤原】平塚八景制定時の写真（昭和57年）

本市最西端、標高182mの七国峠は、昔、甲斐、駿河、伊豆、相模、安房、上総、武蔵の七国が一望できたことから、その名が付けられたといいますが、現在もここからすばらしい景観が楽しめます。遠藤原では雄大な山なみの姿や季節の花がハイカーを迎えます。



【七国峠長兵衛宮跡】現在の写真



平塚八景 ⑥八幡山公園



平塚八景制定時の写真（昭和57年）

平塚八幡宮の森とともに中心市街地のオアシスとなっており、桜、バラ、アジサイ、ハギなどの四季折々の花木が楽しめます。広い園内には平和の慰霊塔や戦災復興事業完成記念碑、八幡山の洋館があり、夜照明が入ると、公園全体が夜の街に浮かび上がります。



現在の写真



平塚八景 ③霧降りの滝・松岩寺



平塚八景制定時の写真（昭和57年）

その名のとおり、重なりあった岩から水が霧のように流れ散る霧降りの滝です。近くの松岩寺の石段を登りきると、眼下に遠く江の島、三浦半島を眺望する景観が開けます。



現在の写真



平塚八景 ⑦湘南潮来



平塚八景制定時の写真（昭和57年）

相模川下流域一帯は湘南潮来といわれ、広々とした水郷地帯です。マリンスポーツや川釣りなどを楽しむ人々にぎわいます。夏には花火大会が盛大に行われ、多くの家族連れが訪れます。



現在の写真



平塚八景 ④湘南平



平塚八景制定時の写真（昭和57年）

神奈川の景勝50選の地で、湘南の海岸線と丹沢連峰から富士山や箱根・伊豆の山々まで見渡せる眺望の名所です。春には桜やツツジのお花見、そして緑のハイキングコースとして親しまれています。また、ここから見下ろす夜景は美しく、週末はデートスポットにもなっています。



現在の写真



平塚八景 ⑧平塚砂丘の夕映え



平塚八景制定時の写真（昭和57年）

相模川から花水川まで約4km続く平塚海岸は、砂丘と松林が続く自然のままの素朴な海岸です。休日には憩いを求める家族連れや釣り客でにぎわいます。特に伊豆大島の眺望や雄大な箱根連山に沈む夕日に映し出された海岸の美しさは絶景です。



現在の写真



吉沢八景の選定

みんなで守り育む“さと”の風景『吉沢八景』を選定しました!!

湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会 会長 秋山 貢

この度、『湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会』（以下、「本協議会」という。）では、皆様から377件もの応募がありました「吉沢八景」について選考作業を行い、本協議会、平塚市、東京農業大学・東海大学、民間企業で構成する選考委員会において、**みんなで守り育む“さと”の風景「吉沢八景」**として選定させて頂きました。この「吉沢八景」を地区の魅力として多方面へアピールしていき、地域活性化に繋げて行きたいと考えております。

全4回の募集でご応募頂いた方々をはじめ、春休み課題として取り組んでくださった吉沢小学校、土沢中学校の皆さん、吉沢公民館まつりやワークショップなどのイベントにおいてご協力頂きました関係各方面の方々には、たくさんのご応募を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

加えて、麻生 恵 選考委員長（東京農業大学 地域環境科学部 学部長 ※選定当時）をはじめ、各委員の方々におかれましても、選考に際し多大なるご尽力を頂きました事、大変感謝するとともに御礼申し上げます。

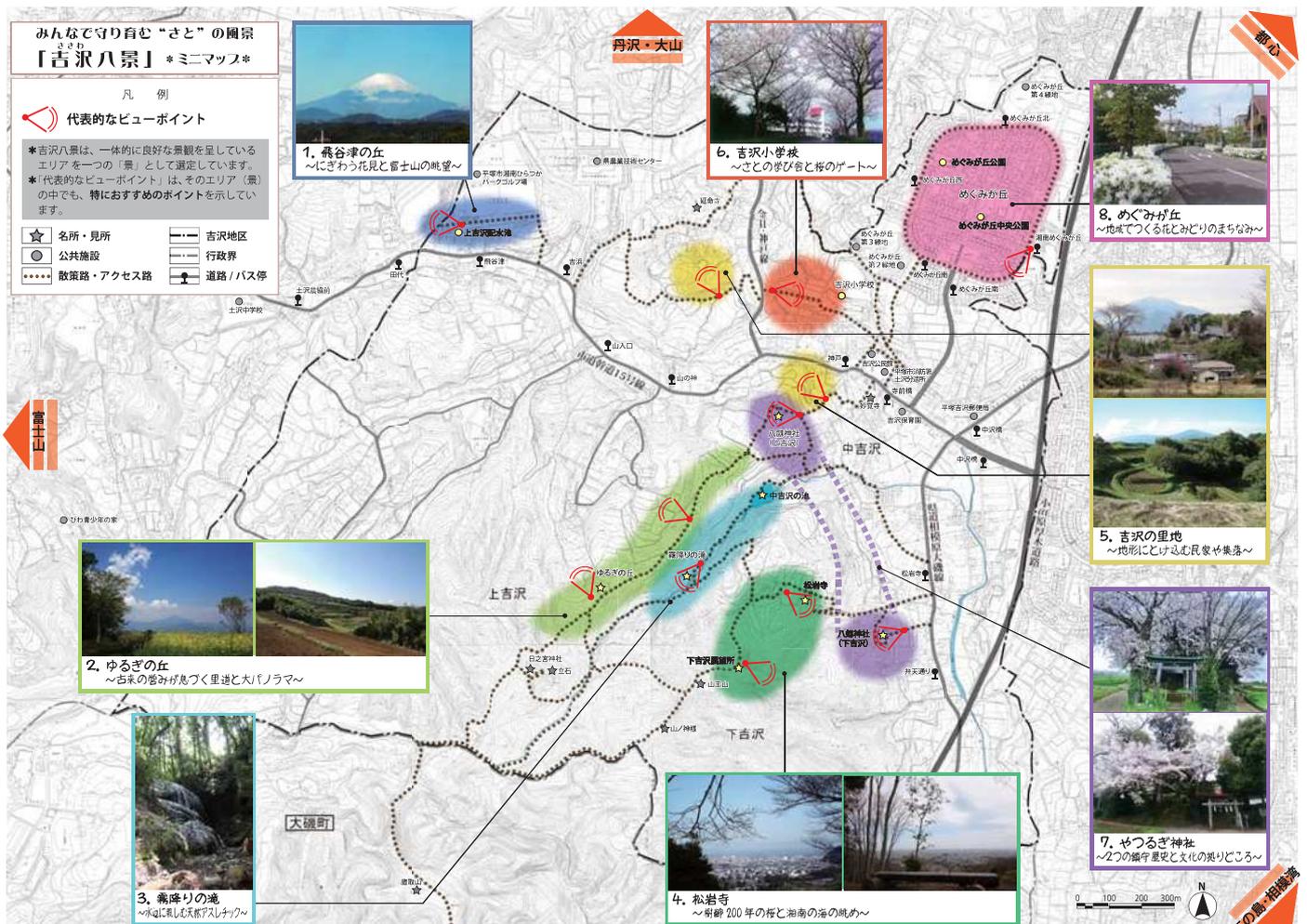
今後とも、本協議会の諸活動に、何卒ご理解とご協力の程、宜しく願い申し上げます。

吉沢八景にこめたメッセージ

湘南平塚にも、知る人ぞ知る、美しい里地里山があります。そんなふるさとの風景を、後世に残し育みたいという想いのもと、吉沢八景を選定しました。

吉沢八景は、以下のような「八景」を目指します。

- 吉沢らしさがあらわれた八景
- 地域づくりの目標となる八景
- 体験や活動・交流を生み出す八景
- 多様な風景や時間・季節の変化を楽しめる八景



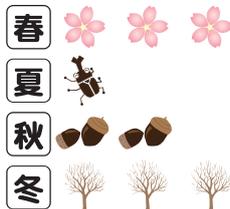
吉沢八景・各景の概要（1）

1. 飛谷津の丘

～にぎわう花見と富士山の眺望～



季節のおすすめ度



代表的なビューポイント

●上吉沢配水池の土手は、吉沢随一の富士山の眺望スポットです。特に、空気が澄んだ冬の時は頂に雪をまとった姿が裾野までくっきりとみえ、おすすめです。春や秋にはダイヤモンド富士をみられることも。また、南側に目を移せば、ゆるぎの里山を望むこともできます。土手の桜並木が満開となる春には、お花見を楽しむ人たちがでにぎわいます。

選定理由

頂に雪をまとった冬の富士山、春や秋のダイヤモンド富士、春の桜と富士山など、四季を通じて、富士山の多様な表情を楽しむことができます。

富士山の眺望やお花見を楽しむスポットとして、カメラ愛好家を中心に、地区内外の人たちから人気があり、八景の選定により、今後はさらなる名所化が期待できます。

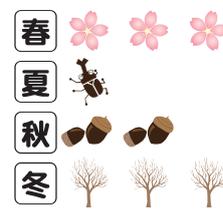
以上のことから、上吉沢配水池の土手一帯とそこからの眺望景観を選定しました。

2. ゆるぎの丘

～古来の営みが息づく里道と大パノラマ～



季節のおすすめ度



代表的なビューポイント

●上吉沢の八剣神社から農道を登っていくと、右手に、富士山を背景として扇状の段々畑が広がる風景に出会えます。
●その扇の要には活性化の拠点「ゆるぎの丘」があります。丘一帯に広がる畑を近景として、北方は秦野や伊勢原の街を前景に丹沢・大山を望み、東は平塚市街から東京都心のビル群までを望む、奥行きのある景観が広がります。

選定理由

「ゆるぎ地区」と呼ばれる里山一帯には、尾根筋に沿ってハイキングコースとしても利用されている里道があり、散策しながら変化に富む里山風景を楽しむことができます。また、里道沿いには、活性化の取り組みを続けてきた「ゆるぎの丘」や、八塚古墳群・敷石遺跡などの歴史を感じるスポットがあり、地元の想い入れが深いエリアでもあります。

以上のことから、2つの遺跡発掘の地から「ゆるぎの丘」へのびる里道沿いの農と眺望の景観を選定しました。

3. 霧降りの滝

～水辺に親しむ天然アスレチック～



季節のおすすめ度



代表的なビューポイント

●霧降りの滝は「魔王の滝」とも呼ばれ、一枚岩から流れ落ちる水流は、優雅な姿と心地よい音を楽しませてくれます。特に、雨が降った翌日など、流量の多い日の滝の様子は圧巻です。樹林に囲まれているため、夏でも涼しく、秋はおすすめの紅葉スポットとなります。

選定理由

霧降りの滝と中吉沢の池は、身近な自然として、地元になじみのある水辺です。四季折々の楽しみ方があり、滝から池に至る水辺の散策路はハイキングコースとして人気があります。子どもたちにとっては、生き物観察の場であるとともに、木道や木橋はアスレチックコースのようでもあり、絶好の遊び場です。選考委員からの評価が最も高い景観です。

以上のことから、滝から池に至る溪流沿いの水辺景観を選定しました。

4. 松岩寺

～樹齢200年の桜と湘南の海の眺め～



季節のおすすめ度



代表的なビューポイント

●松岩寺には樹齢200年を超える見事な桜があり、そこからは、平塚市街とともに、相模湾に浮かぶ江の島を望むことができます。

●松岩寺から山王山方面へと向かう高台には、地元で整備・管理を行っている展望所があります。木々による囲まれ感は居心地がよく、より広範囲に広がる眺めは絶景です。

選定理由

松岩寺一帯からは、東に望む江の島・相模湾をはじめ、北や西へと視線を移していくことで、丹沢・大山や富士山など、多様な風景を望むことができます。また、歴史ある境内には不老水などの文化的な資源があるとともに、桜や紅葉など季節の変化を楽しむこともできます。

以上のことから、松岩寺一帯と地元の力で整備した展望所、およびそこからの眺望景観を選定しました。

吉沢八景・各景の概要（2）

5. 吉沢の里地

～地形にとけ込む民家や集落～



季節のおすすめ度



代表的なビューポイント

- 上吉沢の八劔神社へ農道を登る手前右手に、背景の大山と特徴的な段々畑、農家のお屋敷が調和した風景がみえます。吉沢らしい丘陵地を活かした生業と暮らしの風景です。
- 延命寺南方からは、寺と大山を背景に、古くからの集落の暮らしぶりがうかがえます。ここからの大山はより近くに感じられ、集落が霊峰と寺に見守られているかのようです。

選定理由

段々畑とお屋敷の風景は、自然と調和した生活のあり方が成り立っており、選考委員から「吉沢の特徴があらわれた風景」として高い評価を得た風景です。この貴重な風景を守っていくためには、持続的な営農など様々な課題を伴いますが、多くの方がこの風景の価値を再認識することが課題解決の第一歩につながると考えます。

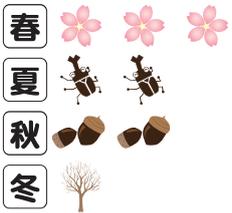
以上のことから、同様の構成要素である延命寺越しの大山の風景と併せて、里地の暮らしの景として選定しました。

6. 吉沢小学校

～さとの学び舎と桜のゲート～



季節のおすすめ度



代表的なビューポイント

- 春の時季、吉沢小学校の正門前の道路からは、桜並木と小学校のシンボルの赤い三角屋根がみられます。子どもたちは、この風景をみると、入学や進級など新年度への期待が高まるようです。また、卒業生にとっても思い出の詰まった風景です。小学校の周辺では、畑の風景や子どもたちが元気に遊ぶ姿もみられます。

選定理由

吉沢小学校は、在校生や卒業生はもちろん、その家族にとっても愛着と誇りのある学校であり、特徴的な赤い三角屋根の展望台は吉沢のランドマークとなっています。また、桜並木は春の訪れを知らせるだけでなく、満開の桜から花が散って、葉桜へと移りゆく様子は子どもたちの成長や季節の流れも感じさせるようです。

以上のことから、吉沢小学校と正門前の桜並木の景観を選定しました。

7. やつるぎ神社

～2つの鎮守 歴史と文化の拠りどころ～



季節のおすすめ度



代表的なビューポイント

- 北の八劔神社は上吉沢の鎮守で、昔から地元で親しまれてきました。境内は、2本の大ケヤキ（市保全樹木）が荘厳な雰囲気を出し、桜やヒガンバナなども楽しめます。
- 南の八劔神社は下吉沢の鎮守で、国の重要文化財に指定されている「かんまん不動」と呼ばれる木造の不動明王立像があり、境内の桜とともに地元で大切に守られています。

選定理由

遊び場やまつりなどで親しまれてきた上吉沢の八劔神社と地元の宝「かんまん不動」を祀っている下吉沢の八劔神社は、それぞれ上吉沢と下吉沢の鎮守として、地域の拠りどころとなってきました。現在では、信仰の場としてだけでなく、季節の花々などを楽しむ場にもなっており、多様な人々が訪れる親しみの場となっています。

以上のことから、歴史と文化を継承する上吉沢の八劔神社一帯と下吉沢の八劔神社一帯の景観を選定しました。

8. めぐみが丘

～地域でつくる花とみどりのまちなみ～



季節のおすすめ度



代表的なビューポイント

- めぐみが丘の街を大きく取り囲む外周道路には、ツツジとハナミズキ（見頃は4月下旬）が街路樹として植栽され、まちなみ全体を美しく彩っています。この外周道路の花々をはじめ、地区内の街路樹や公園・緑地の樹木・草花などは、地域住民が自ら栽培や管理を行い、花とみどりのまちなみをつくっています。

選定理由

めぐみが丘では、「自分たちの街は自分たちの手で」をスローガンに掲げ、街ができた当初から植栽管理活動を続けています。その活動が評価され、平塚市の美化推進モデル地区にも指定され、吉沢の新しい街として、吉沢に新たな魅力を加えてくれています。

以上のことから、街路樹や公園の植栽管理活動を含め、めぐみが丘のまちなみ全体を「つくる景観」として選定しました。